

第 6 回審議会における議論のまとめ

<京都の強みを税収増加につなげるまちづくりについて>

- これまで他都市に先駆けて進めてきた京都創生の取組より、個人市民税、法人市民税、固定資産税が比較的上手く増収につながっている。今までの京都市の政策は間違っていなかったことを確認できたので、こうした方向性の中で、これからの都市整備や都市経営を先鋭化させていくべき。
- 固定資産税が他都市と比べて見劣りしないのは、これまで京都創生で文化・景観・観光を大事にしてきた中で、観光客が増え、インバウンドが増え、そしてその結果、古い住宅が民泊に建て替えられたり、ホテルに建て替えられたり、また富裕層向けのマンションが増えるといったように投資が喚起されたことが、固定資産税の増加につながったためだと思う。
- 個人市民税・法人市民税・固定資産税の 3 つの税収を増加させるための共通の方向性というのは、企業を誘致し、雇用を創出することである。この視点から、税収増加につながるまちづくりをしっかりと進めていく必要がある。
特に京都は、製造業が多いが、中小企業が多い。大きな税収を得るためには、ある程度の大量生産的な構造も必要で、この部分は市南部地域を中心に担っていかなければならない。
- 税収増加にあたっては、人口が大きな要因。指定都市の直近 5 年間の人口を見ると、他都市では半数以上の都市で人口が伸びているが、京都市は人口が減少している。その中で、例えば福岡市は人口が 4 パーセント増加し、税収も大きく増加しているということであり、やはり人口をどうやって増加させるかが重要。
- 法人市民税の法人税割を納めている企業のうち、0.2%の上位 30 社で、30～50%を占めていることに驚いた。この状況を見ると、税収増加を進めるにあたって、大企業の存在は非常に大きく、安定した収益力があり、雇用創出力がある大きな企業を呼び込むことが、今後は非常に重要。
- 京都市内の学生がなかなか市内企業に就職していない現状があるが、学生目線に立つと、安定した有名企業や大企業を求めることは自然なことであり、安定した収益を出す大企業が多くなれば、学生もおのずと市内企業を求めるようになる。
京都市内には中小企業も多いが、その中で面白いビジネスモデルを持っていて、力のある企業があるなら、そういった企業の情報が学生の目に届くような取組を進めていけば、市内就職にもつながる。
- 若年層が市外へ転出していること、市内の学生が市外企業へ就職していることが大きな課題。学生が市外に就職するということは、京都の大学が全国に人材を輩出しているということでもあるが、大学入学を機に京都市に来て、京都市で就職したいと思っているが、適切な就職先がないから市外で就職するというケースもあると思う。学生が就職したいと思える企業をもっと京都市内に誘致することも必要。

- 企業立地促進補助金の実績を見ると、福岡市は京都市と比べて市外企業の立地件数で、かなり高い実績をあげているが、福岡市と京都市の補助制度で何が違うのかをきちんと分析できているのか。
そのうえで、異次元の大胆な政策が今ないと、今後の京都市の健全化にはつながっていかないのではないか。
- 京都市では税収増加につながる大企業の誘致がなかなか進んでいない。京都市の企業立地促進補助金も中小企業が中心になっている。今後は、税収増加につながるような大企業が市外から参入できるような仕組みが必要。
加えて、京都市はやはり用地が不足しているため、市南部や他都市との境界付近の市街地調整区域については、大規模な用地を創出できるよう、すぐにでも取り組む必要がある。
- 若年層の市外流出を止めるには、自分の経済力の範囲で買える家があるかどうかや、どこが子育てをしやすいかという観点で、他都市に負けないバランスの取れた環境を市内に提供する必要がある。
京都市内のどこをどうすれば仕事場に行くのにも交通環境が良く、京都市内に住みたいと思ってもらえるのかという戦略的な視点が必要で、今後、「選んでもらえるまちづくり」を面的に、大きなプロジェクトとして進める必要がある。
- 久御山町、向日市、長岡京市では、市街化調整区域の利用や、工業地域と住宅施設を組み合わせた職住近接型のまちづくり、物流センターの立地などを上手く組み合わせる土地の価格を上げるなど、かなり先進的な土地利用を進めている。
京都はそういった上手な土地利用という部分では遅れ気味で、周辺地域の良いところも取り入れていきながら、京都の郊外を上手く作っていかないといけない。この部分については、相当危機感を持って取り組む必要があると思っている。
- 今後、自動運転や新しいエネルギーを使ったステーションが普及し、それに伴い、新しい産業が発展し、都市計画も変わっていくと思う。そうした中で、「京都は条件が厳しく手が出せない地域」というイメージを払拭しなければならず、様々な方々に新たに京都への投資をしていただき、新たな歳入の増加につなげていくという都市構造に変えていかないといけない。
- デジタル地域通貨をマイナンバーカードのポイントと連携させて、市税や施設使用料、証明書発行手数料の支払いなどがオンライン決済できるようになれば、京都市民の利便性を高めながら、京都市内の消費喚起にも繋がるのではないかな。
- 保育所関係の施策にしても、京都市は非常に頑張っているがそれを上手くアピールできていない。京都は民間の保育園が多く、それぞれ個性的な特徴のある保育をされている。保育所の待機児童ゼロと言うだけでなく、自分の子育てにあった保育所が選べる、京都の街は広くないが、その分、近くの保育園を探せるなど、子育てしている方の目線に立った、京都の良い点をアピールすることが必要。
まちづくりにおいても、子どもの遊べる場所、保育園の近さなど、子育ての視点から、京都市の良さをしっかりとアピールすれば、家を構える層が京都市に住み、税収入の増加や人口減少を防ぐことにもつながっていくと思う。

＜課税自主権の活用について＞

- 超過課税については、個人市民税の均等割や法人市民税の均等割で、他都市の導入事例がある。また、法人市民税は京都市の 2.2%の超過税率を超える政令市が 14 市もあり、こうした超過課税を検討することも重要だと思う。
- 平成 16 年 8 月の税制研究会の報告にもあるとおり、固定資産税は、市税の中でも基幹的な税目であり、充実確保が図られるべきであり、超過課税を行った際の財政効果も非常に大きい。
- 高い水準のサービスを維持するためには、当然それに見合った財源が必要であり、財源がないにもかかわらず、サービスだけを提供するということはあるべき姿ではない。「どのように収入に似合った施策にするのか」、あるいは「施策に見合うよう収入を増加させるのか」を具体的に検討する必要がある。
京都ならではの施策というのは、維持すべきだと思うし、他の都市にはない京都ならではの財政需要に対応するため、財源確保の一つの手段として、超過課税や新税といった課税自主権の活用は積極的に活用すべき。
- 固定資産税については、京都ならではの街並みの保全に関する財政需要に対して追加で税をいただけないかという議論があったが、京都ならではのというと、例えば、木造家屋が多いことで予防も含めた消防関係の支出が多くなっている。こうした独自の財政需要に対応するために、固定資産税の超過課税という手法の活用が検討できないか。

＜地方交付税の必要額の確保について＞

- 地方交付税には改正要望という手段もあるし、国に対して言うべきことはしっかりとすべき。地方交付税の算定が指定都市に不利になっているという説明があったが、これはその通りだと思う。
京都だけではなく、他の指定都市も含めて、指定都市に財源が配分されるような改正要望を出して、5 億円儲ける、10 億円儲けるといった数値目標を出していくべき。
- 地方交付税制度は非常に誤解を受けやすく、交付税の算定がおかしいと思われやすい部分があるが、実際、それぞれの地方自治体が必要と考えている地方交付税の額を確保していくということは簡単なことではない。このため、超過課税や税収増加に向けた大胆な政策、市独自事業の水準の見直しを含めて市独自の努力の部分で解決していくことも重要だと思う。
ただし、大都市に不利な算定になっている、観光の財政需要の算定に入湯税納税義務者数が使われていることなど、地方交付税の算定にあたって、京都市として言うべきことは、国に対してしっかりと声をあげるべき。

＜府市協調の更なる進化について＞

- 指定都市は一般論として、多くの分野で都道府県並みの権限を持っており、他の府下市町村と取扱いが異なることについて、全てが適切でないと理解するのはおかしいが、法的な根拠がない部分において府市でどう進めていくかは話し合っ
て決めるべきことなので、そこはしっかりと京都府に対して求めていけばよい。
- 「京都市民だから」という理由で、京都府の補助事業の対象外にされていたり、
京都市の中央市場など、京都府全体に大きな利便性を与える施設について、京都
府からの財政措置がないといった状況があり、残念に思う。
- 京都市民からすれば、市府民税を一体として納税しているにもかかわらず、京
都市民が府の補助から除外されている。
京都市民の頑張りは、様々な面で京都府全体を押し上げる構造になっていると
思うが、そこが理解されず、うまく協調できていない部分があるのは非常に残念
であり、京都府の事業から市民を除外せず、また京都府民にも大きな影響を与
える京都市の事業に関しては、府から財政措置をいただくなど、さらに府市協調が
進むよう、京都府に対しても求めていただきたい。